



安全データシート SDS

【1. 製品及び会社情報】

製品名 ファインストレッチ（機械巻き）
会社 大日製罐株式会社
住所 〒101-0021 東京都千代田区外神田 2丁目 1 6 番 2 号
担当部門 プラスチック事業部 プラスチック営業部 TEL 03-3251-5214
緊急連絡先 〒365-0062 埼玉県鴻巣市箕田吉右衛門 3132 番地
埼玉工場 プラスチック製造部 TEL 048-596-5528 FAX 048-597-0118

整理番号：EHM-S205-01

作成日：2017年11月01日

【2. 危険有害性の要約】

人の健康に対する有害な影響：高分子化合物で生理学的に不活性であり、特に危険性はない。

環境影響：野外へ放置した場合、動物が飲み込み窒息する可能性がある。

物理的及び化学的危険性：通常の取扱い条件下では特に危険性はない。

GHS 分類：分類できない、分類対象外

ラベル要素

絵表示：非該当

注意喚起語：非該当

危険有害性情報：非該当

注意書き：非該当

【3. 物質の特定】

単一製品・混合物の区別：混合製品

化学名又は一般名	官報公示整理番号（化審法）	CAS No
----------	---------------	--------

ポリエチレン及びポリプロピレン	あり	あり
-----------------	----	----

※ 原材料にカドミウム・鉛・六価クロム・水銀・ポリ臭化ビフェニル・ポリ臭化ジフェニルエーテルは使用しておりません。

【4. 応急処置】

目に入った場合：眼球を傷つける可能性があるため、大量の清水でよく洗う。

飲み込んだ場合：医師に連絡すること。救急措置を施し、この SDS を示して、医師の診断を受ける。

【5. 火災時の処置】

消火方法：製品を火元から遠ざける。

初期火災は多量の水や消火剤を用いて消火する。 保護具着用の事。

消火剤：水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤

本データシートは、一般的な取り扱いを対象について、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しており、記載の情報は新しい知見により改訂されることがあります。

また、記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

【6. 漏出時の処置】

人体に対する注意事項：本品は床に散らかった場合滑りやすいので速やかに処理をする。

環境に対する注意事項：いかなる場所でも放出してはならない。本品を掃き取り、回収または廃棄する。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い：可燃性があるため、作業場では火気をみだりに使用する事を避け、整理整頓に努める。

運搬時は落下させたり、急な持ち上げ作業をしない。

保管：直射日光・水濡れ・急激な温度変化を避ける。貯蔵場所ではみだりに火気を使用しない。

長時間の保管は避けて、出来るだけ早めに使用する。

【8. 暴露防止措置】

許容濃度：日本産業衛生学会：知見なし

設備対策：通常作業時には必要ないが、粉塵が発生する場合は、作業場の換気を充分に行う。

保護具：通常作業時には必要ないが、粉塵が発生する場合は、防塵マスクを着用する。

【9. 物理的及び化学的性質】

物理的状态 形状：フィルム

臭い：無臭

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

融点：115～145℃

比重：0.90～0.93

引火点：340～400℃

発火点：400～500℃

燃焼熱：11000Kcal/g

溶解度：水に不溶

【10. 安定性及び反応性】

安定性：常温では安定

反応性：自己反応性・爆発性なし

可燃性：あり

【11. 有害性情報】

皮膚腐食性・刺激性・感作性・変異原性・生殖毒性・催奇形性・急性毒性・慢性毒性：特に知見なし

癌原性：特に知見なし

【12. 環境影響情報】

分解性・蓄積性・魚毒性：特に知見なし

【13. 廃棄上の注意】

産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、廃棄物の内容を明確にして、処理を委託して下さい。

本データシートは、一般的な取り扱いを対象について、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しており、記載の情報は新しい知見により改訂されることがあります。

また、記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

【14. 輸送上の注意】

国連分類：国連定義の危険物に該当しない。

火気・水濡れ厳禁。変形の原因になる乱暴な扱い（落下・衝撃・引きずる等）をしない。

【15. 使用上の注意】

梱包物の重量に合ったストレッチフィルムを使用する事。

①包装状態が正常である事を確認する事。包装不良があると、ストレッチフィルムが外れて荷崩れの原因となり、商品の損傷や怪我をする事があります。

②硬く、鋭い角のある荷物に使用すると、ストレッチフィルムが角で切れ、商品の損傷や怪我をする事があります。

ストレッチフィルムで包装した包装物の取り扱い、保管の注意：

直射日光の当たらない冷暗所にて保管する事。又、ストレッチフィルムが高温や低温に曝された状態での取り扱いに注意する事。ストレッチフィルムの変形、伸び、衝撃性の低下の原因になり、商品の損傷や怪我をする事があります。

【16. 適用法令】

労働安全衛生法：該当しない

消防法：法9条の4・危険物規則令第4 指定可燃物 合成樹脂

外国為替及び外国貿易法：輸出貿易管理令別表16 項該当品目(チャッチオール規制物質)に該当するので、経済産業省のガイドラインの参照が望ましい。

化学物質排出把握管理促進法：該当しない

【17. その他】

本文章は、製品の安全情報を記したものです。記載の情報は新しい知見により改訂される事があります。

本データシートは、一般的な取り扱いを対象について、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しており、記載の情報は新しい知見により改訂されることがあります。

また、記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。